

ながみнадより

令和7年3月14日 第25号

カラー版、掲載以外の写真は学校ホームページへ



令和6年度

ながみなの 「自律」と「共感」

「自律」
自己選択・自己決定のプロセスを積み重ね、自己指導力・自己肯定感を育むことを、
子どもたちがこれからの時代を「生きる力」に。

「共感」
「失敗」「間違い」「できないこと」の受容、支援を、子どもたちの「安心」「安全」につなげ、
互いを大切にできる、「居場所」と「持ち場」のある学校に。

6年生が卒業するまでに、できるだけ記事にして出してあげたいのですが、これが卒業前最後のだよりになります。とはいえ、だよりはながみなのホームページに掲載しているので、ぜひまたご覧になってください。次号に卒業式の様子を載せます。6年生の保護者の皆さん、教職員と一緒に、いい卒業式で子どもたちを送り出しましょう。よろしくお願いします！

今読んでいる本から、一節引用しご紹介をします。(科学的根拠(エビデンス)で子育て 中室牧子 著)

「結局、人が人を教育するのである」。私たちのほとんどが、人生のどこかで「人を育てる」役割を担います。時に親として、教員として、指導者として、上司として、先輩として、誰かを育てていかなければなりません。それにもかかわらず、人を育てるための効果的な方法や技術を学ぶ機会は多くありません。

確かに「人の育て方」なんて教えてもらったことがないですよね。僕も最近、その難しさに直面したところです。私たちは教員ですが、保護者の皆さんも、親として、(職場で)上司として、先輩社員として、そのような立場の方もおられると思います。きっとみんな悩んでいるんでしょうね、本屋に行くと、人材育成に関連する本の多さに驚きます。うまくいかないからこそ、誰かの手を借りたいし、困ったら「助けて！」って言いたいですよね。学校も「人が人を育てる」場所です。これからもながみなでは、教職員と保護者が手を取り合って、共に子育てできる環境が続きますように。人のやることにはエラーがつきものです。今一度、「寛容さ」を見直してみるのもいいかもしれませんね。どう頑張っても「他人の行動は、自分には変えられません」からね。

1・学校はもう次年度の準備

次年度に向けて、3年生がクラブ活動を見学しました。クラブは運動系2つ、文化系2つに分かれて4~6年生が月1程度で活動をしています。この日は4つすべてを見学し、「〇〇をやってみたい!」「校長先生、クラブはどんなふうにするの?」と早速質問するなど、楽しみにしている様子が感じられました。

2・4月からの新生活に向けて

6年生が中学校へ1日登校しました。この日は直接中学校へ登校し、1日中学校の時間で行動しました。授業時間は50分。授業間の休憩が10分で、中休みがないなど細かな違いがあります。校長が見に行った時は、中学校の美術の授業を体験するグループと、中学校の授業を見学するグループに分かれて行動していました。この後、中学校の給食を食べ、クラブ活動の体験もして下校しました。4月からの新生活が少しでもスムーズに始められますように。

3・裏方も世代交代

小学校では6年生が何かと裏方として活躍してくれます。先日行われた学習発表会では、その裏方も世代交代し、5年生が頑張ってくれました。音楽室から楽器を運搬したり、会場の設営をしたり。今まで6年生が頑張っていたからこそ、スムーズに進んでいた行事。徐々に最上級生の自覚が出てきたかな?

4・愛ガードさん、いつもありがとう!

愛ガード感謝の会を行いました。登下校時、暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も。ながみなの子どもたちを見守っていただいています。この日は子どもたちからお花と、1年生手作りの



メダルをお渡ししました。なんと最高齢の方は92歳だとのことで、本当に頭の下がる思いです。愛ガードの皆様、いつも本当にありがとうございます。

5・1年間の学びの成果だ

学習発表会を行いました。平日にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様に来校いただきました。子どもたちの頑張りを一緒に応援できて嬉しかったです。合唱・合奏はもとより、劇、群読、なわとびに跳び箱とバリエーション豊かな発表となりましたね。運動会でもそうですが、たくさんの方に見守っていただけるので、子どもたち絶対ドキドキしてると思うんですね。でもうちの子、それ乗り越えて頑張るから、見ていて嬉しくなるし、なんだか頼もしいです。



6・学び続ける教職員

校内授業研修を行いました。学期に1回のペースで、午前中授業とし教職員の学びの時間とさせていただきます。この日は1年生の算数の授業を全員で参観し、その後協議を持ちました。東大阪市教育委員会の指導主事を交え、授業の内容、これからの授業づくりについて建設的な議論が行われました。学校がおもしろいにも色々なとらえがあっていると思っていますが、授業がわかるから、学校がおもしろい！もその1つになれば最高やねんけどなあ。



7・憧れる姿が身近にある

あるお天気の良い日。グラウンドに出てみますと、6年生と1年生がなわとび交流をしていました。1年生は色々な跳び方のできる6年生を憧れの目で見つめ、6年生はとっても可愛らしい1年生のお世話を夢中です。やっぱりながみなの異学年交流って、いい取り組みです。別の日には3年生と5年生、2年生と4年生もきょうだい学年で交流を実施しました。



8・長瀬中学校区の特徴

5・6年生の外国語の授業を、東大阪市教育委員会や他の学校の先生方に見に来ていただきました。長瀬中学校区として英語教育に力を入れよう！ということで、今年度は長瀬中の英語の先生に3・4年の外国語活動、5・6年の外国語の授業を担当していただいています。授業後は校長室で、さまざまなふりかえりや情報の共有が活発に行われました。



9・文化に触れる経験がある

クラシックの時間 in 東大阪というイベントで6年生は文化創造館へ。関西フィルハーモニー管弦楽団の演奏を聴かせていただきました。私たち大人でもなかなか聴く機会のないオーケストラの演奏。市としてこのような機会を子どもたちに与えていることは素晴らしいと思います。皆とても楽しそうに演奏を楽しんでいました。6年生は卒業までイベントが盛りだくさん。



10・多様性に触れる

1・2年生が観劇を実施しました。NPO 法人ばあとなあ様にお越しいただきました。ももじろうという桃太郎をモチーフにした劇の中で、障がいのある方の困り感や、周囲からのサポートについて学びました。食いつくように身を乗り出して劇を見て、質問したくて一生懸命挙手する姿が印象的でした。今回の観劇は長瀬中の体育館をお借りし実施しました。中学校の体育館に子どもたちは、「おっきい〜」と驚いた様子でした。



11・自発的に学ぶということ

3・4年生が多文化共生教育の一環で、ゲストティーチャーにお越しいただき交流を持ちました。ミガンさんはペナン、ハリスさんはパキスタンの方です。おふたりとも日本語が上手で、子どもたちともスムーズに交流できました。それぞれの国のことを学び、もっと知りたいと興味を持つ子どもたち。やはり「自発的」な学びが深まりますね。

